

## 若者等活動拠点施設（仮称）の整備について

まちなかの良好な景観の創出や、回遊性の向上、地域の活性化、持続可能なまちづくりに向けた事業のひとつとして、「景観まちづくり刷新支援事業」を活用して、下町に若者等活動拠点施設（仮称）を整備する。

### 1. 目的

- ・次代を担う若者たちが地域でいきいきと暮らし、活動することを通じ、飛騨高山に誇りと愛着を育む。
- ・伝統的建造物群保存地区及び周辺の景観に配慮された美しい町並みを維持する。

それらの実現に向け、下町エリアの使用されていない町家の活用による施設整備により、閉ざされた空間が開かれ、そこに人の気配が感じられる、とりわけ若者たちによって明るい未来が切り拓かれ、魅力的なまちを目指す。

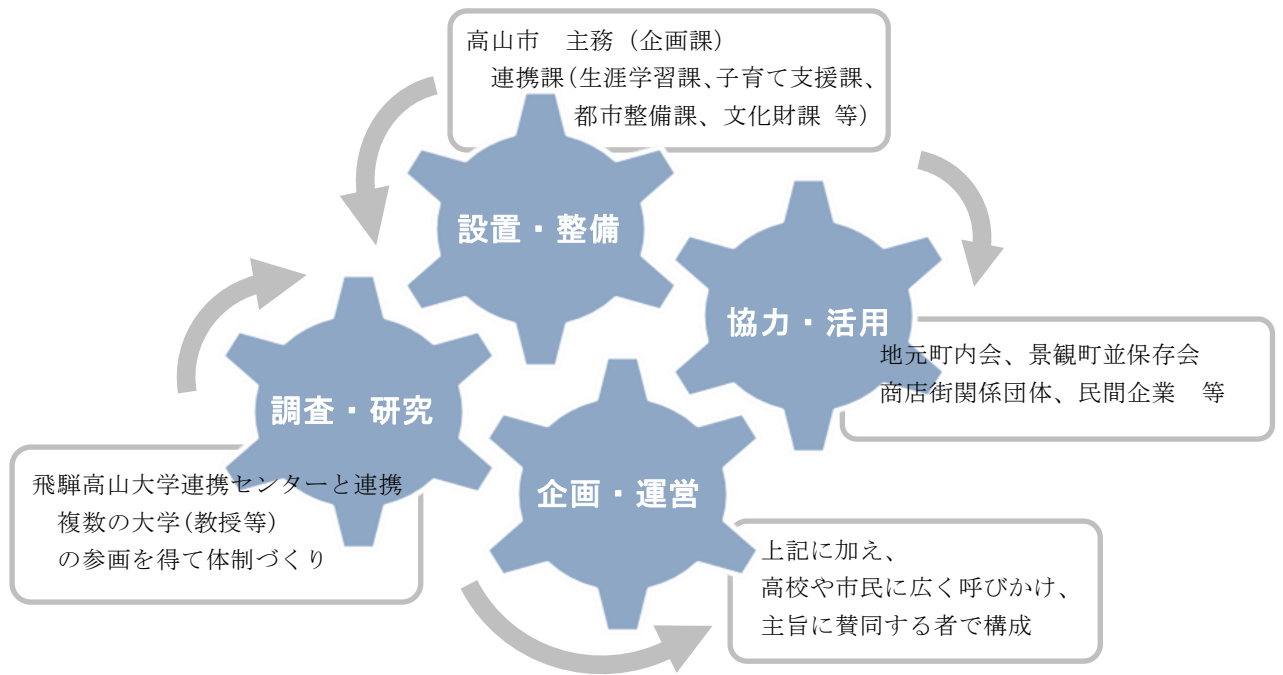
### 2. 施設の活用例

活用之际には、若者がやりたいこと願っていることを重視し、若者からの意見聴取や話し合いを積み重ね、今後、具体化していく。現時点で想定される活用例は次のとおりである。

- ・高校や大学等のフィールドワークの拠点、サテライトキャンパスとして
- ・若者が趣味やサークル活動を行い、発表する場として
- ・若者が様々な人と出会い、つながり、交流する場として
- ・地元の学校や教育旅行の児童・生徒のまち歩きの拠点として
- ・若者が古い町並において、伝統文化や四季の暮らしを体験するきっかけとして

### 3. 推進体制

- ・多くの市民に支えられる施設となるよう、整備前の構想段階から大学生や地元高校生など若者の参画を得るなど、市民・専門家・地元・行政が一体となって建物改修（ハード）、整備後の企画運営（ソフト）の両面から検討をすすめる。



#### 4. 対象施設

下二之町大新町伝統的建造物群保存地区及び周辺の町家等から対象施設を選定

##### (1) 選定にあたり重視すべき事項

- ・ 複数の間取りなど、活動スペースが十分に確保できるか (建築規模、空間構成)
- ・ 施設整備により、良好な景観創出につながるか (建築様式、文化財的価値、間口)
- ・ まちの回遊性向上につながるか (立地条件)

##### (2) 候補物件

下二之町6番地 旧村田邸 (別紙参照)

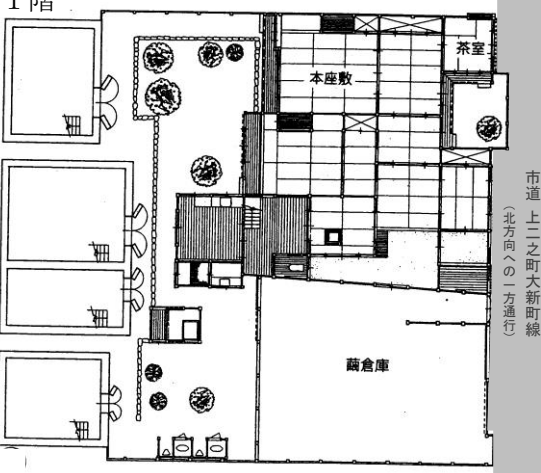





#### 5. スケジュール

平成29年度	高校や若者等関係組織へ個別の参画呼びかけ 広報たかやまや市ホームページ等での参画メンバーの一般公募 施設整備、活用のための内容検討 (~平成31年度)
平成30年度	詳細設計
平成31年度	整備工事
平成32年度	供用開始

## 1. 候補物件

下二之町6番地 旧村田邸

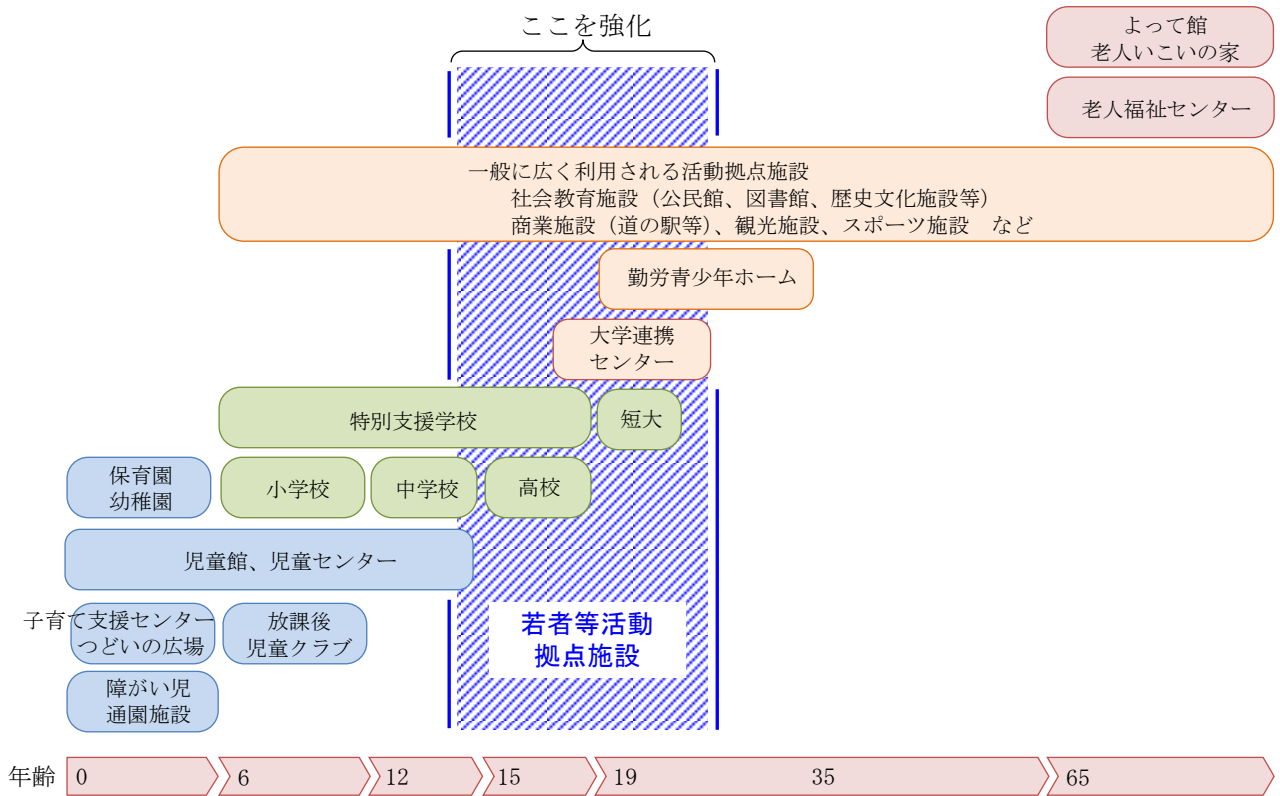
※明治初期に繭の卸業「村半」の店舗兼住宅として建築されたもの

<p>【敷地面積】 680.98 m<sup>2</sup></p> <p>下二之町6番地(宅地) 191.73 m<sup>2</sup></p> <p>下二之町7番地(宅地) 76.03 m<sup>2</sup></p> <p>下二之町8番地(宅地) 413.22 m<sup>2</sup></p>	<p>【建物床面積】 延べ695.82 m<sup>2</sup></p> <p>主屋1階 243.96 m<sup>2</sup>、2階 79.00 m<sup>2</sup>、延べ 322.96 m<sup>2</sup></p> <p>繭倉庫 119.00 m<sup>2</sup>、物置 13.22 m<sup>2</sup></p> <p>土蔵① 1階 28.76 m<sup>2</sup> 2階 28.76 m<sup>2</sup>、延べ 57.52 m<sup>2</sup></p> <p>土蔵② 1階 61.81 m<sup>2</sup> 2階 61.81 m<sup>2</sup>、延べ 123.62 m<sup>2</sup></p> <p>土蔵③ 1階 29.75 m<sup>2</sup> 2階 29.75 m<sup>2</sup>、延べ 59.50 m<sup>2</sup></p>
<p>【平面図・写真】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>2階</p>  <p>1階</p>  <p>市道 上二之町大新町線 (北方向への一方通行)</p> </div> <div style="width: 50%;">      </div> </div>	
<p>【その他】 伝統的建造物 特定物件 (下二之町大新町伝統的建造物群保存地区)</p> <p>明治8年大火の直後の建築と思われる (築約140年)</p> <p>間口13間半 (約26m) ⇔ 吉島家 (約26m) や日下部家 (約25m) と同規模</p>	

## 2. 主な選定理由

- (1) 高山最大級の町家で改造もごく少ないなど、極めて価値が高い建築物である。
- (2) 間口が広く、数多くの座敷や天井が高く広い倉庫、3棟(4つ)の土蔵、前後に庭を有するなど、多様な空間構成で魅力ある施設整備が可能である。
- (3) 賑わいを創出していきたい下町のなかでも、上町からの導入部分かつ主要な通りに位置しアクセス良好のため、様々な事業展開(物販、集客イベントなど)での好影響が期待できる。
- (4) 下町地域に存在する50件余りの空家・空き店舗のなかでも上記の内容を含め極めて有効性が高い。

[図1]  
高山市における主な世代別公的活動拠点施設の整理



[図2]  
若者等活動拠点施設（仮称）候補物件周辺の回遊性向上

